

秋

9~11月

木々の葉が鮮やかに色づき
清風が肌に心地良い秋を、
魂をも震わす三味線の音と
鈴虫の鳴き声が演出。

虫かごのスズムシはすべて、
駅員が心を込めて飼育したもの。
秋の風情をたたく美しい虫の音に
ぜひ耳を傾けてください。



▲愛らしい鈴虫の鳴き声が乗客の心を慰めます。

哀切漂う 津軽三味線の音色

太宰のふるさと金木地区は、津軽三味線発祥の地でもあります。津軽三味線の始祖「神原の仁太坊」は安政4（1857）年7月、この地に生まれました。坊様として金木町のあちこち



▲津軽三味線独特の迫力ある演奏が楽しめる「仁太坊まつり」。

ちを三味線片手に演奏行脚した稀代の演奏者仁太坊を偲び、毎年9月に開催されているのが「仁太坊まつり」。津軽三味線全日本金木大会の仁太坊賞、白川軍八郎賞等を受賞された方を集めてエキジビションを行っています。そして、9月から10月にかけての津軽鉄道は「鈴虫列車」が運行。虫かごにスズムシを入れ、列車に設置して走ります。客車内には、「リットリーツ」というスズムシの音が涼しげに響き、しばしの間、列車内に居る事を忘れさせてくれます。そして車窓の向こう側では、田んぼ

仁太坊まつり

9月上旬

津軽三味線の始祖・仁太坊出生の地で行われる、熱のこもった演奏会。例年「津軽三味線会館屋外ステージ」にて、当代きっての津軽三味線の名手が、秋の星空に響き渡れとばかりに力強く弾き、高らかに唄います。

●問い合わせ先/金木あすなる商店会 0173-52-2878

津軽鉄道 鈴虫列車

9月1日~10月中旬 ※鈴虫の生育状況により期間は変動。

鈴虫のケースを車内の棚に置き、秋の可憐な美しい虫の声で列車の旅を演出。期間中は、すべての列車で満喫することができます。

●問い合わせ先/津軽鉄道株式会社 0173-34-2148

の稲穂が黄金色の頭を垂れているのに気づくはず。いよいよ、津軽にも本格的な秋が到来します。

津軽三味線ライブ

津軽三味線会館の多目的ホールでは毎日、津軽三味線のライブステージを開催。卓越した演奏者による迫力の生演奏をお楽しみください。

- 開催日時/
 - 4~11月 10:00~10:30・11:00~11:30・13:30~14:00・14:30~15:00、
 - 12~3月 11:00~11:30・13:30~14:00・14:30~15:00
- 開催場所/津軽三味線会館 多目的ホール
- ※問い合わせ先は下記参照。

参加体験 津軽三味線音出し体験



▲津軽三味線まんじ流のまんじ愛華さん。

プロの津軽三味線奏者による親切丁寧な指導のもと、実際に棹と撥に触れながら、演奏にチャレンジできる体験メニュー。一見、初心者には難しいように思えますが、「変に肩肘を張らず、素直な心で撥を握れば、意外と早く津軽三味線らしい音色を出す事ができますよ」と、津軽三味線会館でステージ演奏指導



ホール中に鳴り響く音色はまさに感激の一言。

- 開催日時/4~11月 15:10~17:00、12~3月 9:30~10:30・15:10~17:00 各回約30分
- 開催場所/津軽三味線会館 多目的ホール
- 参加人員/最大30人（要相談） ※音出しは14人以上の場合、30分の時間内に交代。
- 参加費/1回（1グループ）30分・5,000円 ※入館料は別料金、要予約1週間前まで
- 「津軽三味線ライブ」「津軽三味線音出し体験」の問い合わせ先/津軽三味線会館 0173-54-1616

9~11月開催のイベント・体験メニュー

太宰ミュージアムフェスタ「津軽まつり」

●9月上旬 ●会場/芦野公園

太宰治ゆかりの地かなぎ文学散歩

※詳細はP16をご覧ください。

川倉そば打ち体験

※詳細はP26をご覧ください。

木村製材所見学

(5~10月) ※詳細はP26をご覧ください。

梶浦チップ製材所見学

(5~10月) ※詳細はP26をご覧ください。

ふれあい田舎体験

- ◆農業体験 (7~10月中旬) ※詳細はP28をご覧ください。
- ◆木工体験/ひば細工体験/田舎スイーツ・田舎料理体験
- 開催日時/通年開催 10:00~12:00、13:30~15:30
- 開催場所/かなぎ元氣村かだるべ
- 参加費/1,000円~(ひば細工) 1,500円~(木工) 2,400円(田舎スイーツ・田舎料理)
- 所用時間/1~2時間
- 問い合わせ先/かなぎ元氣村「かだるべ」0173-52-2882

おすすめPOINT

津軽三味線は、生で聴くのが一番！プロの演奏者によるステージ演奏を楽しんだ後は、その感動をぜひ自分の手で奏して体験してみたい。

